

泰然たる柔道家プーチンが“レームダック” オバマに格の 違いを見せつける

【訳者注】訳者として言うべきことはない。おそらく読者の大多数は、米選挙以来、ここに至る世界情勢の急展開には、驚きとともに深い感慨を覚えておられるだろう。あのアメリカ帝国が、おそらく自国民にも愛想をつかされて沈んでいく光景が、誰の目にも見えてくるのではないだろうか？ このニュースには、武力による勝利でなく、精神の高雅さによる圧倒という、我々を感動させる要素が加わっている。この記事もそうだが、RTのこの関連ニュースの、読者の反応の異常な多さにもそれは現れている。もちろんこれによって平和が約束されるわけではないが、このプーチンの取った行動が、歴史を動かすことは確実であろう。

フェアプレイとか人間の尊厳や自尊心を、故意に破壊し侮辱する者たちと、あくまで人間に対する敬意を失わない者たちとの間で、戦争が起これば最後にはどうなるか？ 我々は生きてそれを見届けなければならない。

なんとと言っても、この最後のマンガが傑作である。画像の見られない方は、ぜひ、創造デザイン学会の方へリンクして見ていただきたい。

Moon of Alabama

December 30, 2016, Information Clearing House

オバマ政権が、いかにも彼らしい、卑小な復讐心をむき出しにして、昨日、35人のロシア外交官を国外追放し、ニューヨークとメリーランドにある2つのロシア資産を封鎖した。オバマはまた、ロシアの外部情報局FSBと軍事情報局GRU、そのリーダーの一部に、彼らの仕事への制裁を下した。

この動きは明らかに、全く証明されていない、ロシアの、米選挙に影響を与えたという“ハッキング”をめぐるものであった。しかし、本当の理由は、シリアの新しい停戦交渉の成功に、オバマが除け者にされて、面子を失ったことにあるようだ。

型通りにロシア政府は、ハイクラスの皮肉と寛大さによってそれに応えた。

最初の動きは、イギリスのロシア大使館からのもので、オバマ政権のあり方を、このようにツイートした――



オバマ大統領が、冷戦時の再現のように、35人のロシア外交官を追放——米国民を含むすべての人々が、この不幸な政府が早く消えてほしいと思っている時に。

このツイートは、1万7,000の再ツイートと、1万9,000+の「いいね」を獲得し、「ベスト・オブ・ザ・イヤー」候補は確実と思われる。

応答として、リークやいろんな空想記事が、オバマの行動への不屈きなロシアの反応について、アメリカ寄りのメディアに現れた。

CNNは、ロシアが、モスクワのアメリカン・スクールを閉鎖するだろうと言った——
<http://www.politico.com/story/2016/12/russia-american-school-sanctions-233048>

幼稚園児から12年生までの、国際的な生徒を入学させている非営利の日間学校が、モスクワ郊外 Serebryany Bor にある米大使館の別荘とともに、閉鎖されるだろうと、CNNは報じた。

続いてBBCなどが、ロシアは35人の米外交官とスパイを追放するだろうと言った。
<https://www.yahoo.com/news/russia-moves-expel-35-us-diplomats-foreign-minister-105423748.html?ref=gs>

しかし本当の偉大さを示すのは、類をもって仕返しすることではない。ロシア大統領プーチンは、(またもや) その応答において、オバマとの格の違いを見せた——

プーチン、米外交官をロシアから追放しないことを決定
<http://tass.com/politics/923478>

モスクワ発、12/30/ タス/ ロシア大統領ウラジミール・プーチンは、ワシントンの最近のモスクワに対する制裁への報復として、一人の米外交官をも、ロシアから追放しない決定をした。

プーチンはまた、ロシアは、(外交官たちの) 家族や子弟が、新年の祝日の間、いつも使っている休養やレジャー施設を利用することを、禁止したりしないと述べた。

「それだけでなく、私は、ロシアの信任状をもっている米外交官のすべての子弟を、クレムリンにおける新年とクリスマス・パーティに招待している」と、プーチンは述べた。

オバマが閉鎖した、メリーランドとニューヨークのロシアの敷地は、アメリカのロシア人子弟の休暇のために使われるものだ。

プーチンのカウンターは、相手が気を抜いた一瞬を利用して、相手を倒すことである。これは柔道の高度の技術をもつ者の、古典的な手である。

「我々は、報復措置を取る権利を保有する。しかし我々は、いわゆる“台所外交”のレベルに身を落とすつもりはない。これは我々が、さらに一歩進んで、トランプ政権の方針を考慮に入れながら、ロ米関係の回復を図るためだ」とプーチンは言った。

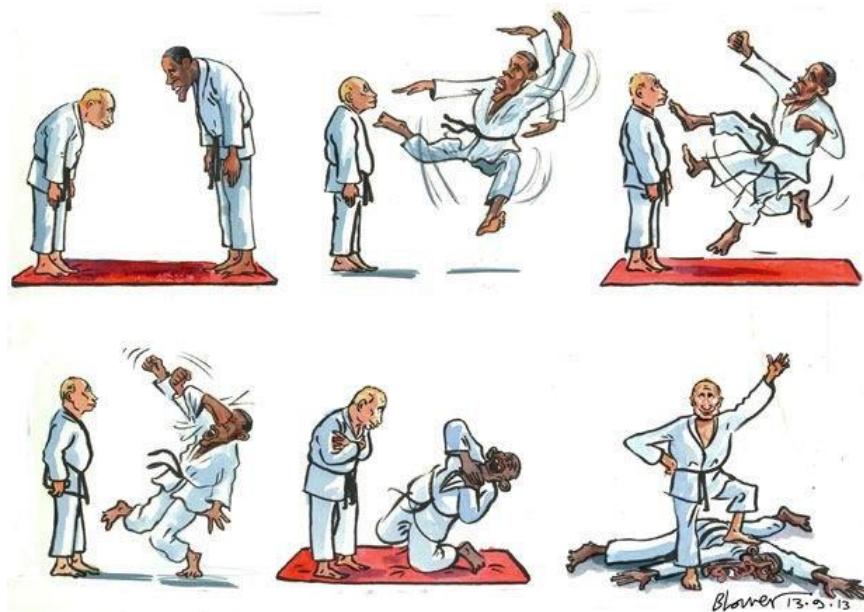
やられた！ あの“レーム・ダック”ツイートは、すでにオバマに届いているに違いない。しかしこれでは、あまりにも差が開きすぎて、オバマに追いつくチャンスはない。

2度のオバマ政権の対外政策は、目も当てられぬ大失敗であった。彼の率先による大きな計画と、彼の任期の終わりの結果を考えてみよう――

- ・ロシアとの“リセット”：失敗
- ・イランとの交渉：成功したようだが、制度化されておらず、ひっくり返る危険が大
- ・アジアへの“ピボット”（軸足替え）：失敗
- ・TPP および TTIP 貿易協定：失敗
- ・新しい中東平和の唱道：失敗
- ・ウクライナの政権交代：成功したように見えるが、巨大なファシズムの泥沼となる
- ・リビアの政権交代：成功したように見えるが、巨大なテロリストの巣窟となる
- ・シリアの政権交代：失敗

対外政策でオバマが達成したといえる唯一のことは、ヨーロッパのプードルたちを整列さ

せたことくらいだろう。これは、ろくなヨーロッパの政治家がいなかったので、楽な仕事だった。しかし彼は、プーチンのような偉大で泰然とした敵手に太刀打ちはできない。



プーチンの高度な技が、きょう、一つの大統領政権に墓石を築いた。それについて歴史は、現在のメディアの反響より、遙かにもっと悪い判定を下すことであろう。